

学報

2015 年 1 月 Vol. 689



学長年頭のあいさつ（1月5日）

学長年頭のあいさつ	1
スブラス・マレット大学と相互オフィス設置へ	3
秋のクリーンキャンパスを実施	4
「十二単の着装と体験 ～日本の民族衣装～」を開催	5
平成26年度大学改革シンポジウム「地域・市民とともに育てる医療人」を開催	6
第43回岐阜大学フォーラム開催	7
産学ツーリズムを開催	8
タイ国の特別支援学校教員らが本学附属農場を視察	9
留学報告会「私達の留学の“真実”」を開催	10
エコ活動啓発ポスターの表彰式を実施	11
パリ第11大学（フランス）と大学間学術交流協定を締結	12
第6回学長記者会見	13
第1回国際ジョイントミーティングを開催	14
岐阜県教育委員会との連携による特別支援学校教員の専門性向上に関する覚書の締結	16
学位授与	17
産官学連携の実施状況	18
外国人研究者の受け入れ	19
メディア掲載一覧	20
諸会議	24
主要日誌	26
人事異動	《学内限定》27

学長年頭のあいさつ

明けましておめでとうございます。今年は9連休となりましたが、如何お過ごしでしたでしょうか。小生も皆さんと同じく幾つか宿題を抱えた年越しでしたが、帰省先では少しゆっくり過ごすこともできました。

さて年頭のご挨拶ですが、まず昨年の到達目標を振り返ることから始めたいと思います。



最大の仕事は学校教育法，国立大学法人法の改正に伴う学内諸規則の改正と年俸制の一部導入でしたが，教職員の皆さんから様々なご意見を頂き，さらにご理解を賜り，予定どおり進行することが出来ました。有難うございました。これから学長，執行部のガバナンスと迅速な意思決定をもって皆さんとともに大学運営の適切な舵取りを進めて参ります。

次に教育研究プロジェクトについては，医学教育開発研究センターが，我が国唯一の医学教育全般に関わる拠点指定を受けました。後でお話する第3期の取り組みを進めるうえで，極めて大きな成果です。またグローバル化は一部の申請がもう少しのところまで行きましたが，最終的には残念な結果となりました。ただ審査結果の連絡に添付されたコメントにもあるとおり，今回の申請を基礎とした一層の展開が私共には期待されています。実際，工学部，応用生物科学部を先頭に本学と海外機関との関係強化が着実に，かつ相当なスピードで進行しています。さらに教育学部による海外特別支援教育の指導，医学部における海外臨床実習の拡大と準備教育としてのOSCE試行，地域科学部による国際教養コースの準備や留学生センターの積極的な展開など，すべての部局でグローバル化の取り組みが着実に進んでいます。引き続き一層の強化をお願いします。

では今年の目標に入ります。申し上げたいことは，鬼が笑うかもしれませんが，来年始まる第3期までを見据えた仕事をお願いしたいということです。

言うまでもなく本年最大の仕事は第3期中期目標・中期計画の策定です。同時に第3期には運営費交付金配分ルール的大幅な変更もアナウンスされています。これらを反映して，第3期のスタートより1年早く，予め平成27年度予算案の段階から対応に取り組むよう，現在作業を進めています。先の展開を見据えた仕事が必要と考えます。

また、大学が今後どのような機能を選択するのかを宣言することも第3期の初めに求められます。ミッションの再定義をはるかに超える意思決定になります。昨年12月17日の産業競争力会議における下村博文文部科学大臣のプレゼンに準ずれば、私共は「地域活性化・特定分野の重点支援を行う大学」に該当すると考えます。具体的には「地域活性化の中核となりつつ、特定の分野で世界ないし全国的な教育研究を目指す大学」ということです。まず地域活性化の中核であるべく、目に見える実績によって評価することが可能な地域貢献が必須です。言い換えれば現在有する地域活性化の実績を分かりやすい形で提示し、さらに今後どう展開するかを提案することになります。一方では世界ないし全国的な教育研究を目指す特定の領域を、同じく実績に基づいて明示する必要があります。具体的には生命科学、環境科学、次世代金型と、先ほどお話した、既に拠点獲得に成功した医学教育になろうかと考えます。このような観点から、今年予定されている研究拠点の再編成やグローバル化関連を含む教育研究プロジェクトへの応募を積極的にお進め下さい。また数年先の新たな拠点形成に向け、別領域の基盤的研究も、次世代の岐阜大学を準備する上で大いに期待しています。執行部による研究支援という立場から極端なことを申し上げると、すでに力を有する拠点候補の教育研究テーマは外部資金による展開を期待します。次の候補には予算面など極力支援をいたしますが、その際には厳しい学内審査を覚悟して下さい。

以上、年初から慌ただしい日が続くことが予想されますが、私共は腰を据えた重心の低い取り組みを進めたいと思います。新しい1年が岐阜大学の将来に向かって良いものとなりますよう、本年もどうぞ宜しくお願い致します。

簡単ですが新年のご挨拶とさせていただきます。

有難うございました。

平成27年1月5日

スブラス・マレット大学と相互オフィス設置へ

本学の森脇学長，鈴木理事（国際・広報担当）及び小山学長補佐は，12月2日（火），大学間学術交流協定大学である，インドネシアのスブラス・マレット大学を訪問した。

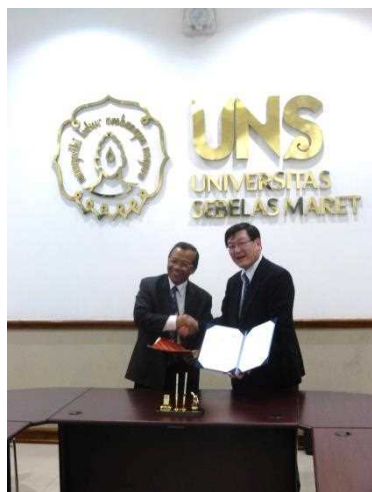
今回の主な訪問目的は，スブラス・マレット大学内にある岐阜大学オフィス設置に関する覚書の調印及び同オフィスの運営並びに本学との共同教育事業に係る意見交換である。スブラス・マレット大学からは，カールシディ学長，スタルノ副学長，ユヌス統括研究科長，バンバン農学部長，トフィー国際室長等同大学の関係者らが出席した。

調印式では，スブラス・マレット大学内に本学オフィスを，本学内にスブラス・マレット大学オフィスを設置すること及び両オフィスの管理運営及び活用目的について確認した。

その後，両大学間における共同教育事業等の連携について活発な意見交換が行われた。意見交換の中で，スブラス・マレット大学医学部のトナン博士から，来年，本学に視察団を送り，本学医学部附属病院が擁する最先端医療 IT システムを視察したいとの打診があり，森脇学長は，快く了承した。

次に，スブラス・マレット大学内にある IC-GU12 の環境科学ラボ・ステーションを視察し，管理運営者のコマリア講師らから，本学の備品の設置状況や本学連合農学研究科との共同研究の具体的な内容について，説明を受けた。

今回のスブラス・マレット大学訪問は，両大学の教育・研究に係る連携協力をより一層強固なものとする機会となった。



調印式の様子



IC-GU12 環境科学ラボ・ステーションにて

秋のクリーンキャンパスを実施

本学は、12月3日（水）、清掃活動「秋のクリーンキャンパス」を実施した。

本学は、平成21年11月に『環境ユニバーシティ』を宣言しており、環境に配慮した大学づくりに取り組んでいる。『環境ユニバーシティ』を宣言した日にちなみ、毎年11月を岐阜大学環境月間とし、さまざまな行事を実施しており、「秋のクリーンキャンパス」もその行事の一環として、毎年実施しているものである。今回は、11月に実施を予定していたが、雨天のため順延となっていた。

当日は、教職員や学生762名が参加し、1時間程度キャンパス内のごみや落ち葉などを集めた。キャンパスには、たくさんの木々が植えられており、側溝を塞ぐ落ち葉を取り除く作業も行われた。また、学生サークルが花壇に花を植える活動もみられた他、今回も、本学のキャンパス内に校舎がある岐阜薬科大学の職員や学生の参加協力があった。

キャンパス内の清掃活動とともに、キャンパス周辺にある新堀川の川岸の清掃も毎回行っており、今回は各学部などから33人が集まった。横山理事（総務・財務担当）の挨拶の後、参加者は力を合わせて川岸のごみ拾いなどの清掃活動を行った。



新堀川清掃開始の挨拶をする
横山理事（総務・財務担当）



キャンパス内の清掃活動を行う学生たち

「十二単の着装と体験 ～日本の民族衣装～」を開催

本学留学生センターは、12月3日（水）、柳戸会館集会室（和室）において、特別講義「十二単の着装と体験 ～日本の民族衣装～」を開催した。

当日は、留学生センター所属の日本語・日本文化研修コースの留学生（以下「日研生」）をはじめ、本学に在籍する留学生や日本人学生及び教職員ら約30人が参加した。

この講義は本学では初めての試みで、「本物にふれる」という留学生センターのコンセプトに基づいて、10月に渡日した日研生を主な対象とした日本文化の体験型授業の一環として開催したものである。

最初に留学生センターの土谷准教授から、講師の方々の紹介があり、引き続き十二単の歴史や和服に関する基礎知識について説明が行われた。その後、モデル希望者の中から選抜された日研生のレ・ティ・トゥイ・チャムさん（ベトナム）が、小袖と袴、化粧の下準備をし、髪に宝冠を付けて会場に入室した。留学生たちは、五衣、表着、唐衣、裳を、作法に従い手際よく十二単の着付けいく様子を興味深く見入っており、貴重な体験となった。

大学でこのような体験型の授業は少なく、日本の伝統文化の奥深さ、美しさを堪能することができる有意義なひと時となり、文部科学省の日研生プログラムの施策でもある、日本文化教育の充実にもつながる講義となった。



平成26年度大学改革シンポジウム「地域・市民とともに育てる医療人」を開催

本学は、12月5日（金）、日本医学教育学会と共催で、平成26年度大学改革シンポジウム「地域・市民とともに育てる医療人」を開催した。

基調講演と8名の演者によるシンポジウム、総合討論を実施し、総勢110余名が参加した。森脇学長の挨拶後、日本医学教育学会理事長・名古屋大学大学院教授 伴信太郎氏から「地域基盤型医療者教育の国際的動向」をテーマに基調講演が行われた。また、シンポジウムでは教員、医師、学生、患者家族、模擬患者、篤志献体登録者等様々な分野のシンポジストらが、それぞれの活動状況と医学教育に対する考えを講演した。総合討論では、壇上のシンポジストに対して会場から質問が向けられ、意見交換が行われた。

医療関係者のみならず、職員、学生、地域の方々にも医療者教育育成について考えてもらうよい機会となった。



第43回岐阜大学フォーラム開催

本学は、12月8日(月)、岐阜大学講堂で第43回 岐阜大学フォーラムを開催した。

本学は、大学活性化のために、優れた学問を発展させてきた一流の研究者による講演会を年数回開催している。第43回目となる今回は、本学男女共同参画推進室の企画により、首都大学東京理事 副学長 江原由美子氏が、「グローバル化時代の大学のダイバーシティ推進～男女共同参画をふまえて～」と題して講演を行い、教職員・学生等85名が参加した。

森脇学長からの開会挨拶の後、江原由美子氏より講演があった。グローバル化による世界の大学の国際化の結果、大学でのダイバーシティ推進が求められていること、男女共同参画とダイバーシティ推進の関連性及び男女共同参画推進にとってダイバーシティ推進施策の中に位置づく意義について講演があり、参加者は熱心に聞き入った。

本学は、今後も多様性人材活力推進の基本方針に基づき、行動計画の実践として様々な施策を実施していく。



産学ツーリズムを開催

本学は、12月9日（火）、森脇学長をはじめ、理事、副学長、監事等の大学幹部による地域企業訪問（産学ツーリズム）を実施した。産学ツーリズムは、本学が地域産業の振興に貢献するために、地域を支える企業活動の現状を把握し、理解を深めることを目的として平成19年度から行っており、今回で8回目の開催となる。今回は、製造業の岐阜車体工業(株)とメイラ(株)の2社を訪問し、それぞれ、企業幹部との情報交換及び工場見学を行った。両社は共に50年以上の歴史を持つ岐阜の主要企業である。

工場見学では、いずれも生産ラインの特徴、改善、創意工夫等について本学の卒業生等から説明を受けた。岐阜車体工業(株)では、星野鉄夫会長のコンセプトにより、工場現場の各部門から全社員が集うことができるように新設された社員食堂で、一行歓迎の昼食会が催された。また、メイラ(株)においては、大橋真社長から、医療、宇宙航空機産業に関する製品において、許認可の制約が強い中での品質保証と利益確保への努力や営業の困難さなどの説明を受け、企業経営の持続と発展に関する取組の真剣さを実感できるものとなった。

このツーリズムによる現場体感、本学の産学連携による地域貢献のあるべき姿を改めて考える機会となった。



岐阜車体工業(株)の工場見学をする森脇学長と理事、副学長ら

本学附属農場がタイ国の特別支援学校教員ら視察団を受け入れ

本学附属農場は、12月9日（火）、タイ国の教育省幹部及び特別支援学校教員からなる視察団30名を受け入れた。

本学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター柳戸農場及び美濃加茂農場では、教育福祉農場の取り組みとして、知的障がい者の雇用や実習の受け入れを行っており、現在農場職員の4分の1にあたる5人の職員を雇用し、農作業を行っている。

今回、視察団一行は、大学と連携した就労支援の取り組みや日本における特別支援教育に注目して本学附属農場を訪れた。

当日は、池谷教育学部長、応用生物科学部の大場教授が一行を案内し、ぶどう園での枝の剪定や、鶏卵を磨く様子などを熱心に視察した。

適宜質疑応答が行われ、雇用条件や具体的な業務に関する質問がされるなど、大変有意義な視察となった。



花を摘む実習を視察する一行



鶏卵磨きの実習を視察する一行

留学報告会「私達の留学の“真実”」を開催

本学留学生センターは、12月10日（水）、全学共通教育棟において、留学報告会を開催した。

この報告会は、留学を希望する学生や留学に関心のある学生を対象に、留学に関する情報を提供することにより、留学が身近なものとなり、留学への一助となることを目的に開催しているもので、既に10回以上開催している。当日は、日本人学生、留学生、教職員等約65名が参加した。

報告会では、まず、ルンド大学（スウェーデン）に留学した武田憲人さん（教育学部4年）、サンディエゴ州立大学（アメリカ）金武李佳さん（教育学部4年）、シドニー工科大学（オーストラリア）佐伯卓馬さん（工学研究科2年）、エルフルト大学（ドイツ）中村織衣さん（医学部3年）の4人が、パワーポイントをもとに、留学の動機、留学先を決定した経緯、現地の環境、勉学や生活、宿舎の様子、留学へのアドバイス等々について語った。

続いて、10月から本学に留学している、サンディエゴ州立大学（アメリカ）のルーカス・ケイレブさん、木浦大学（韓国）のパク・ウォンさん、キム・ヤンソンさんが、出身大学の紹介（位置、気候、学部・学生数など）、観光スポット、食べ物等について流暢な日本語で説明あった。

最後は、グリフィス大学（オーストラリア）、ソウル科学技術大学（韓国）のサマースクールに参加した3人の学生が、授業の様子、ホームステイとホストファミリー、観光の様子、留学の体験や感想等について報告を行った。

発表者全員が、勇気を持って一歩踏み出し、そこで多くの人々との良い出会いがあったことを話し、後輩へのアドバイスとした。

報告会終了後は、交流会を行った。参加した学生たちは、留学経験者を囲み、活発に情報交換を行った。報告会とは違うリラックスした雰囲気のなかで、学術交流協定大学の情報が入手でき、留学の夢へ一歩近づく機会となった。

また、当日は、交換留学のほか、様々なスタイルの海外活動を体験した学生の記録をまとめたパンフレットや留学ガイドブックが配布されたほか、サマースクール参加者が作成したオリジナルのポスターも掲示され会場を盛り上げた。



報告会の様子



オリジナルのポスター

エコ活動啓発ポスターの表彰式を実施

本学は、環境問題に対する意識の啓発に役立てることを目的に、「エコ活動啓発ポスター」のデザインを本学教育学部附属小・中学校の児童・生徒に募集した。多数の応募があり、厳正な審査の結果、金賞3作品、銀賞3作品及び銅賞10作品を決定し、その表彰式を、12月16日（火）、本学附属小・中学校で行った。

この活動は、「岐阜大学と十六銀行との環境保全における連携に関する覚書」に基づき実施した連携活動の一環であり、このようなポスターの募集企画は、今回で4回目となった。

表彰式には、十六銀行の河口総務部長、長谷川総務グループ調査役、本学の森脇学長、横山理事（総務・財務担当）、松井附属小学校副校長、水谷附属中学校副校長、杉浦施設環境部長が出席し、受賞した児童・生徒一人ひとりに森脇学長より表彰状が、十六銀行の河口総務部長より副賞が手渡された。また、受賞者に対し、森脇学長からは「学校、家庭、さらには地域において、環境活動に取り組んでほしい」、河口総務部長からは「どの作品も本当に素晴らしい」、そして松井附属小学校副校長からは「学校全体で環境への問題意識を高めてほしい」と言葉がかけられた。

この活動をとおして、本学は地球温暖化やリサイクルなど環境に対するさらなる意識向上を図るとともに、今後も十六銀行と連携して、より一層環境対策について地域へ広める活動を進めていく。



受賞した児童・生徒を囲んで記念撮影



中学生の部

「あなたにできること」



小学生高学年の部

「ちきゅうがおねつをだしちゃった！」



小学生低学年の部

「でんきをこまめにけそう」

パリ第11大学（フランス）と大学間学術交流協定を締結

本学は、12月16日（火）、パリ第11大学と大学間学術交流協定を締結した。
1970年に設立されたパリ第11大学は、フランス国内に13あるパリ大学大学群の1つで、270haの敷地を有するフランスで最も大きな大学である。パリ南部の3県に5つのキャンパスがあり、本部はパリ郊外のオルセーにある。パリ第11大学の研究のレベルは高く、これまでにノーベル賞2名、フィールズ賞4名の受賞者を輩出している。

平成23年6月より、本学医学系研究科・医学部とパリ第11大学との交流が開始され、以来、研究者交流や学生派遣プログラム等が活発に継続されている。

なお、本学がフランスの大学と大学間の協定を締結するのは今回が初めてであり、この協定により本学の大学間学術交流協定は45校となった。

第6回学長記者会見

本学は、12月17日（水）、第6回学長記者会見を実施した。

会見ではまず、森脇学長から、「岐阜県商工労働部と岐阜大学研究推進・社会連携機構産官学連携推進本部との企業誘致・定着促進に関する連携協定」について、「第3期以降に向けての将来ビジョン」と関連させて概要を説明した。

引き続き、王副学長より連携協定について説明が行われた。質疑応答では、記者から多くの質問がされるなど本学の情報を積極的に発信する機会となった。

また、学長記者会見の後には連携協定締結式を開催した。



概要説明の様子



協定について説明する王副学長

第6回発表事項は次のとおり。

- 森脇久隆学長

概要説明

- 王 志剛副学長（産官学連携推進本部長）

「岐阜県商工労働部と岐阜大学研究推進・社会連携機構産官学連携推進本部との企業誘致・定着促進に関する連携協定」について

第1回国際ジョイントミーティングを開催

本学工学部は、12月17日（水）、18日（木）の2日間にわたり海外協定大学との第1回国際ジョイントミーティング（国際合同会議）を開催した。

工学部と密接な関係にある海外協定大学の学長、学部長、リエゾン（交流）担当教員を招待し（13カ国23大学46名）、国際交流に関する取組み（教育システム、留学制度など）について情報交換・意見交換を行った。本学主催では過去最大の国際会議である。

17日は、岐阜都ホテルで開催した。森脇学長、六郷工学部長より開会の挨拶が行われ、瀬瀬副工学部長から平成27年4月に開講するグローバル環境・エネルギーコースについて紹介があった。その後、海外協定23大学の参加者より、各大学の沿革、教育目標、カリキュラム、国際交流などについて紹介された。総合討論では、この会議の開催で大学同士のネットワークが形成されたこと、留学制度などについて議論した。



会場の様子（岐阜都ホテル）



プレゼンテーションの様子

バンケットでは、鈴木理事（国際・広報担当）の挨拶の後、大学・参加者同士の親睦を深めた。岐阜総合学園高等学校太鼓部による和太鼓・笛演奏並びに本学大学院工学研究科大学院生である清水隆宏さんによる津軽三味線演奏などが披露され、バンケットは華やかなものとなった。ボゴール農科大学長は、カラオケ「北国の春」を日本語で流暢に熱唱するなど、会は大盛況となった。



記念写真（岐阜都ホテル）

翌18日は、岐阜大学工学部に場所を移し、海外協定23大学より、グローバル化に関する取り組み（留学制度、カリキュラム、奨学金、留学生センターの活動など）について紹介があった。総合討論では、グローバル化に重要な事柄などについて議論をより深めた。また、文部科学省よりスーパーグローバルハイスクールに指定されている岐阜県立大垣北高等学校の生徒との交流会、工学部研究室見学を実施した。

閉会式では、交流を一層活発にするための共同宣言が六郷工学部長より各大学の代表者へ手渡された。共同宣言を手にして記念撮影が行われ、当会議は盛況のうちに終了した。



会場の様子（岐阜大学工学部）



プレゼンテーションの様子



共同宣言を手にして記念写真（岐阜大学工学部）

2日目のディナー（生協第二食堂）では、野々村副工学部長の挨拶後、各大学の活発な意見交換・情報交換はもとより、親密な交流が行われた。インドネシアからの本学留学生による歌・民族ダンスも披露され、盛り上がりをみせた。

今後もこの国際会議を継続的に行うことで、協定大学との連携を強化し、国際能力に優れた学生の育成はもとより、教育・研究活動の高度化・活性化を図っていく。

岐阜県教育委員会との連携による特別支援学校教員の専門性向上に関する覚書の締結

本学教育学部は、12月19日（金）、岐阜県教育委員会との連携による特別支援学校教員の専門性向上に関する覚書を締結した。

この覚書は、大学と県教育委員会が、相互の機能を効果的に共有・活用し、特別支援学校教員が、障がいのある児童一人一人のニーズに応じて適格な指導・支援を行うことができるよう、教員の専門性向上施策の検討及び実施を行うことを目的としている。

締結式では、池谷教育学部長と松川禮子岐阜県教育長が覚書に調印し、今後、特別支援学校の教員向けの校内研修プログラムの作成・実施や障がい種に応じた支援体制の充実を図るなど、大学が県教育委員会と連携して取組を進め、成果を出していくことを誓った。



学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	授与年月日	博士論文名 (和訳)
博士（医学）	甲第960号	にしむら ひでなお 西村 英尚	平成26年12月17日	Protamine-containing insulin but not analog insulin and duration of insulin use are risk factors for the production of insulin autoantibodies in insulin-treated patients with diabetes mellitus (インスリン療法を実施する糖尿病患者においてプロタミン添加インスリンとインスリン治療期間はインスリン抗体陽性化のリスク因子となる)
博士（医学）	甲第961号	よねざわ しんご 米澤 慎悟	平成26年12月17日	Bevacizumab treatment leads to observable morphological and metabolic changes in brain radiation necrosis (脳放射線壊死に対するベバシズマブ療法によって観察される形態学および代謝性変化)
博士（医学）	乙第1478号	チョウ レンシ Zhang Lianxi	平成26年12月17日	Different effects of local anesthetics on extracellular signal-regulated kinase phosphorylation in rat dorsal horn neurons (局所麻酔薬がラット脊髄後角神経細胞におけるextracellular signal-regulated kinaseリン酸化に及ぼす影響)
博士（工学）	工博乙第73号	きとう しゅんすけ 鬼頭 俊介	平成26年12月31日	水素火炎ジェット点火法における燃焼特性および燃焼制御に関する研究 (Combustion characteristics and control by hydrogen flame jet ignition)

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成26年12月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
医学系研究科	江崎孝行	TBA(株)
〃	吉田和弘	味の素製薬(株)
医学部附属病院	兼松雅之	バイエル薬品(株)
工学部	額 守	豊田鉄工(株)
〃	小林孝一	馬居化成工業(株)
〃	佐藤健	(株)メイホーエンジニアリング
〃	関根敏和	(株)日本自動車部品総合研究所
〃	仲井朝美	(株)田幸
〃	仲井朝美	中部電力(株)
〃	仲井朝美	北陸ファイバークラス(株)
〃	仲井朝美	三菱瓦斯化学(株)
〃	宮坂武志	(独)宇宙航空研究開発機構
〃	山下実	(株)コーワ
〃	吉田弘樹	(株)テイコク
応用生物科学部	西村真一	岐阜県岐阜農林事務所/NTC コンサル タンツ(株) / (株)ユニオン

○受託研究

(平成26年12月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
医学系研究科	深尾敏幸	ジェンザイム・ジャパン(株)
医学部附属病院	柴田敏之	化研生薬(株)
医学系研究科	森田啓之	国立大学法人筑波大学
複合材料研究センター	大谷章夫	(独)科学技術振興機構
工学部	仲井朝美	(独)科学技術振興機構
医学系研究科	一宮尚志	(独)科学技術振興機構
工学部	八嶋厚	(独)科学技術振興機構
〃	仲井朝美	(独)科学技術振興機構
〃	大谷具幸	(株)竹中工務店名古屋支店
医学系研究科	榎本由貴子	学校法人兵庫医科大学兵庫医科大学
医学部附属病院	小林和成	草津町

外国人研究者の受け入れ（12月）

受入部局	氏名 (国名)	所属・職名	期間	研究題目
応生	ワリド ザカリヤ ハッサン Waleed Zakaria Hassan メトワリ バダウィ Metwaly Badawy (エジプト)	カフルエルシェイク大学 講師	2014.12.1～ 2015.11.30	食品中のトランス脂肪酸に関する研究
応生	チャン・レイフン 張 麗芬 (中国)	—	2014.12.1～ 2015.11.30	冷凍グルコマンナンゲルの劣化抑制に関する研究

メディア掲載一覧

○新聞

(平成26年12月分)

掲載日	新聞名	内容
12月1日	岐阜	◎教えてホームドクター：不眠症の治療 まず睡眠衛生指導を 就寝時刻にこだわりすぎず ～医学部附属病院 塩入俊樹 教授～
12月1日	中日	◎見極める衆院選：岐阜大生 争点を激論 恩恵なし×格差疑問
12月2日	中日	「生命の循環」を題材に絵画30点 岐阜で佐藤さん個展 ～教育学部 佐藤昌宏 教授～
12月2日	岐阜	県庁舎、再整備で視察 検討有識者委が初会合 ～座長・工学部 高木朗義 教授～
12月2日	朝日	いつもありがとう作文コン 小4 若原くんが入選 お父さんへの感謝表現 ～教育学部附属小学校4年 若原弘典さん～
12月2日	朝日	犬と人の難病解明へ挑戦 DMとALS 共通性に着目 治療研究 ～応用生物科学部附属動物病院 神志那弘明 准教授～
12月2日	岐阜	日本語で思い熱く 県内留学生在が弁論大会 ～岐阜大学留学生～
12月2日	岐阜	◎研究室から大学はいま：彫刻で美術の魅力伝えたい ～教育学部美術教育講座 河西栄二 准教授～
12月4日	岐阜	着付けで日本文化紹介 留学生が十二単を体験 ～日本語日本文化研修コース特別講義～
12月5日	読売	飼育ヤギ盗み「食べた」 ベトナム人3人窃盗容疑で逮捕 ～応用生物科学部 八代田真人 准教授～
12月5日	中日	研究用ヤギ 盗んで「食べた」 ベトナム人の3容疑者逮捕 ～応用生物科学部 八代田真人 准教授～
12月5日	岐阜	8月、美濃加茂の岐阜大施設から盗む ヤギ、容疑者「食べた」 ～応用生物科学部 八代田真人 准教授～
12月5日	毎日	除草隊ヤギを食べました 窃盗容疑 ベトナム人逮捕 関係者無念「許せない」 ～応用生物科学部 八代田真人 准教授～
12月5日	朝日	盗んだヤギ「食べた」 美濃加茂で窃盗容疑 ベトナム人逮捕 ～応用生物科学部 八代田真人 准教授～
12月6日	岐阜	◎夕開帳：観光旅行は五感健康法 ～岩田弘敏 名誉教授～
12月6日	朝日	円安が利益圧縮、格差拡大 ～地域科学部 柴田 努 助教～
12月6日	岐阜	「地域医療」で実習 白川病院、学生受け入れ ～医学部医学科院外実習～

掲載日	新聞名	内容
12月6日	岐阜	医師の卵, 現場を体感 岐阜大4年生が障害児者医療実習 介護やリハビリに熱視線 ～医学部医学科院外実習～
12月6日	岐阜	市民の力で医師育成 岐阜大がシンポ 模擬患者, 問診技術向上に一役 地域ぐるみの教育紹介 ～医学教育開発研究センター～
12月6日	岐阜	留学生, 十二単姿に変身 岐阜大特別講座で着付け体験 ～日本語日本文化研修コース特別講義～
12月7日	読売	◎病院の実力: 大腸がん 「腹腔鏡手術」傷目立たず 永久的人工肛門回避も ～医学部附属病院腫瘍外科 高橋孝夫 講師～
12月7日	中日	若者の政治参加 自ら考える 岐阜大生が衆院選学ぶ「朝活」開く ～地域科学部3年 丸山純平さん～
12月9日	岐阜	◎研究室から大学はいま: 病気発症防ぐ健康習慣調査 ～医学系研究科医科学専攻腫瘍制御学講座疫学・予防医学分野 和田恵子 准教授～
12月9日	岐阜	医療通訳, 守秘義務に注意 岐阜市でボランティア研修会
12月9日	岐阜	岐阜大でパネル展 減少する「県鳥」研究 ライチョウの危機深刻 ～応用生物科学部動物繁殖学研究室 楠田哲士 准教授～
12月10日	岐阜	◎はじめの一票: 若者の参加待つ政治 年配者の多い事務所, 大学生が訪問 ～2年 吉田昌知さん～
12月10日	岐阜	タイの特別支援学校教員ら30人 障害者就労の現場視察 岐阜大学農場で実習見学 ～応用生物科学部 大場伸哉 教授, 池谷尚剛 教育学部長～
12月12日	中日	狭い小道「壁ドンロード」に 柳ヶ瀬活性化 岐阜大生が提案 ～工学部社会基盤工学科の2年生ら～
12月12日	岐阜	岐阜大生が景観アイデア発表会 柳ヶ瀬再生願い提案 「屋上緑化し回遊を」 ～工学部社会基盤工学科の2年生ら～
12月13日	岐阜	岐阜大名誉教授, 投票行動研究 水崎節文氏死去
12月14日	中日	岐阜大管弦楽団定期演奏会
12月14日	中日	政治に興味持つ契機に ～地域科学部3年 丸山純平さん～
12月15日	岐阜	日本家屋に熱い視線 岐阜大留学生が展示場訪問 ～留学生センター 日本語・日本文化研修留学生, 大学院生, 研究生ら17人～
12月15日	中日	国際的テーマで留学生から助言 大垣北高校生 ～工学研究科グローバル化推進室 川瀬真弓 特任助教～
12月16日	中日	リウマチやアトピー治療に光 原因タンパク質 構造解明 岐阜大グループ ～加藤善一郎 教授, 大西秀典 併任講師らのグループ～

掲載日	新聞名	内容
12月16日	岐阜	岐阜大, 立体構造を解明 リウマチ, アレルギーの原因物質 京大と共同研究, 世界初 ～加藤善一郎 教授, 大西秀典 併任講師らのグループ～
12月16日	岐阜	◎研究室から大学はいま: インフラ使いこなす技術を ～工学部社会基盤工学科防災コース 國枝 稔 教授～
12月16日	中日	岐阜大など25件 1415万円の助成金 小川科学技術財団
12月17日	岐阜	岐阜大 ケニア国立大と協定 工学部間で学術交流推進 ～工学部 佐々木実 教授～
12月18日	中日	ケニアの大学と学術協定を締結 ～工学部 瀬瀬守 教授～
12月18日	日本経済	企業誘致・定着 岐阜大と連携 岐阜県 ～産官学連携推進本部～
12月18日	中日	企業誘致へ連携 岐阜大と県協定 国立大では全国初 ～産官学連携推進本部～
12月18日	朝日	共同研究や経営課題解決を支援 企業誘致や定着 県と岐大タッグ ～産官学連携推進本部～
12月18日	岐阜	企業誘致へ官学連携 県商工労働部と岐阜大が協定締結 経営課題の解決支援へ ～産官学連携推進本部～
12月18日	岐阜	岐阜大, 国境を超え交流 13か国 協定大学など招き会議 ～工学部 瀬瀬守 教授～
12月19日	岐阜	児童生徒16点入賞 エコ啓発ポスターコンクール ～教育学部附属小・中学校～
12月20日	岐阜	特別支援学校教員の養成強化 県教委と岐阜大連携 ～教育学部 池谷尚剛 学部長～
12月21日	中日	苗の病害 微生物で防ぐ 岐阜大・清水准教授が日本農学進歩賞 抗結核薬 放射菌の効果応用 ～応用生物科学部 清水将文 准教授～
12月21日	中日	星谷さんらを表彰 岐大付の小中生 エコ活動ポスター ～教育学部附属小・中学校～
12月21日	岐阜	若い力で飛騨牛PR 岐阜大生がブランド展開提案 ～応用生物科学部1年生～
12月22日	中日	県内医師らの管弦楽団 岐阜大病院でXマス演奏会 ～医学部附属病院～
12月22日	中日	障害児教育 協力へ連携 県教委と岐阜大教育学部が覚書 ～教育学部 池谷尚剛 学部長～

掲載日	新聞名	内容
12月23日	岐阜	◎研究室から大学はいま：「美白」「黒髪」へ色素細胞研究 ～医学系研究科再生医科学専攻再生分子統御学講座組織・器官形成分野 青木仁美 講師～
12月24日	岐阜	ジビエ精肉に挑戦 岐阜農林高生がシカ解体 ～応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター 森部絢嗣 助教～
12月24日	岐阜	「二次林」の森林整備 科学情報 蓄積して ～応用生物科学部 小見山章 教授～
12月25日	岐阜	木沢記念病院「医師外国留学制度」 大橋氏を認定 ～医学部附属病院耳鼻咽喉科 大橋敏充 臨床講師～
12月25日	毎日	入院中の子どもにXマスプレゼント ～医学部附属病院～
12月25日	岐阜	美術鑑賞会，弾むトーク 岐阜大で展示解説，学生交流 ～教育学部美術教育講座 辻 泰秀 教授～
12月25日	中日	教室がギャラリーに 岐阜大教育学部 学生の絵画や彫刻展示 ～教育学部美術教育講座 辻 泰秀 教授～
12月27日	朝日	ヤギ窃盗容疑者 一人は不起訴に
12月27日	岐阜	◎夕開帳：長良川サイダー ～岩田弘敏 名誉教授～
12月28日	岐阜	◎ぎふ歴史発見シリーズ：ドクター森の歴史散歩 岐阜市の陵墓 ～前岐阜大学長 森 秀樹 名誉教授～
12月28日	岐阜	多彩な音色，息ピタリ 岐阜大がギタマン定演 ～岐阜大ギター・マンドリンクラブ～
12月28日	中日	がん事情学ぼう 岐阜で来月17日 ～医学部附属病院 吉田和弘 教授～
12月28日	中日	エボラ出血熱 県内 感染確定まで自宅で待機も 複数検査のセット化必要 ～医学系研究科 江崎孝行 教授～
12月30日	岐阜	◎研究室から大学はいま：先進的整形外科医療と研究 ～医学系研究科医科学専攻病態制御学講座整形外科学分野 秋山治彦 教授～
12月30日	中日	がん治療発展へ米国留学 木沢記念病院奨学制度で 岐阜大の大橋医師 ～医学部附属病院耳鼻咽喉科 大橋敏充 臨床講師～
12月31日	岐阜	東日本教訓，地震に備え 岐阜大非常勤講師ら「災害入門書」出版 ～木呂子豊彦 非常勤講師，杉戸真太 岐阜大学副学長～

◇第12回授業編成専門委員会

12月1日（月）

議事

1. 平成27年度非常勤講師採用計画の一部変更について
2. 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について
3. 協定大学等のサマースクール等における学修の単位認定について

◇第466回役員会

12月4日（木）

議事

1. 特任教員雇用事前協議について
2. 職員採用規程等の一部改正について
3. 早期退職募集制度の導入について

◇第187回 図書館委員会

12月5日（金）

議事

1. 平成27年度開館日程（案）について
2. 平成27年度政策経費事業計画等について
3. 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスについて

◇第467回役員会

12月11日（木）

議事

1. 教育職員の人事（医学系研究科：准教授3名）について

◇第8回部局長・部長会

12月11日（木）

議事

1. 第三期中期目標・中期計画の骨格案について

◇第8回教学委員会

12月16日（火）

議事

1. 岐阜大学次世代地域リーダー育成プログラム規程（案）について
2. 学校教育法の改正に伴う「学内転部規程」等の改正について
3. 平成26年度秋季入学料及び後期分授業料免除等について
4. 平成27年度岐阜大学授業料及び入学料免除等に関する選考基準実施要領の一部改正について
5. 平成27年度授業料免除等手続きの日程（案）について

◇第468回役員会

12月18日（木）

議事

1. 特任教員雇用申請について
2. 選択定年制における目標等の裁定について

12月18日（木）

（報告事項のみ）

◇第469回役員会

12月25日（木）

議事

1. 年俸制導入の進捗状況について
2. 教育職員の人事（工学部：教授4名，准教授：2名，助教：2名，応用生物科学部：助教1名）について
3. 特任教員雇用事前協議について
4. 岐阜大学フェロー候補者の推薦について
5. 年俸制移行者について

主要日誌

月 日	行 事 名
12 / 1	第12回授業編成専門委員会
4	第466回役員会
5	第187回 図書館委員会
10	看護学科・看護学専攻教授会議（医） 教授会・代議員会（工） 教授会（メディア）
11	第467回役員会 第8回部局長・部長会
12	代議委員会（連獣）
13	医学系研究科看護学専攻（修士課程）入学試験（第2次）
16	第8回教学委員会 研究科委員会（連創）
17	第6回学長記者会見 教授会・研究科委員会（教・地・応） 医学研究科・医学科教授会議（医） 国際ジョイントミーティング（工）（～18日まで）
18	第468回役員会 第131回教育研究評議会
19	代議員会（連農）
24	教授会（流域・生命）
25	第469回役員会 応用生物科学研究科入学試験（第2次）（～26日まで）